



No.3000

第3318回例会

平成24年10月10日

DISTRICT 2500

OBIHIRO ROTARY CLUB

方針 友情と育み地域にロータリー理念を生かそう

会長 奥原 宏

2012-13年度国際ロータリーのテーマ 奉仕を通じて平和を

9月26日例会 会員総数86名(内免除会員5名)

出席
報告

出席者数 54名

欠席者21名
(出免5名)

(名)

0

86

■会長報告



奥原 宏 会長

先週末10月の5日から7日まで北見市において2012-13年度地区大会が開催されました。登録参加いただいた会員の皆様、本当に有り難うございました。北見の居酒屋・スナックでのおびひろナイトでは良いお酒を飲むことができましたし、会長として心地よい疲れと同時に一生の思い出ができましたことをお礼申し上げます。

本日の例会プログラムは米山委員会の主催でございますが、多分私にしか会員の中でわからない米山梅吉の側面について少々お話をし会長報告と致します。

米山梅吉は1868年(慶応4年)東京芝田村町で高取藩の家中、和田竹造の三男として生まれ、のち8歳の梅吉は映雪舎(尋常小学校)に入学。成績優秀なため旧家、米山家の養子として生まれ、400年続いた米山家に小学校卒業後、養子となりました。養父の配慮で中学校に入学し、当時は言論文章をもって天下国家を論じる風潮があり、梅吉は文筆も弁舌も巧みでありました。その後養父の反対を押し切り東京へ行き青山の東京英和学校に入学。この間苦学を強いられながら英語を学び渡米することになりました。その後1895年、米山はアメリカから帰国し、青山女学院を卒業した米山はると結婚、三井銀行に入り持ち前の能力と人望により頭角を現し退職後、三井信託を創立しました。1913年、青山学院の理事となり、校友会長として学院の事業に力を注ぎました。のち学院の小学校・幼稚園を米山氏は夫婦にてそれぞれ建立しました。米山校長が朝礼で子供に繰り返し説いた校訓は暗い時代にあつて子供たちの心の奥深く響いたそうであります。「人からされて嬉しかった事は、人にもそのようにしなさい。」

「人からされて嫌であった事は、人にもしてはいけない。」多くの卒業生が、幼い時に覚えたこの言葉が人生の指針となったと述懐しているそうであります。

1920年、日本で初めて東京ロータリークラブを設立し米山氏が初代会長となりましたが、1946年に逝去するまで教育に力を注ぎ続け、多くの苦学生の就学を援助する理念となったと思います。

■プログラム「米山記念奨学会の誕生から現状まで」

(米山記念奨学委員会)

「趣旨説明」

石神 美代 米山記念奨学委員長



「奨学会の誕生と米山梅吉について」新田 潔 米山記念奨学委員



今月は米山月間でございます。本日は米山奨学会を少しでもご理解、ご協力頂く為に、私も米山委員の学習も含めまして「米山記念奨学会の誕生から現状まで」というテーマで米山委員それぞれが担当を決めまして分かりやすく皆様にお伝えさせて頂きたいと思っております。最後までご清聴の程宜しくお願い申し上げます。

米山梅吉は、慶応4年2月4日、東京芝田村町で、武士・和田竹造の三男として生まれました。

それ以降は先ほど会長が話された通りであります。明治16年、梅吉は東京へ出て勉強する決心をし、だまって家を出た梅吉は、3日がかりで東京へ着きました。

沼津中学の先輩をたよって、梅吉は銀座の江南学校に入学しましたが、もっと深い勉強がしたいと、漢学者土居光華先生の書生になりました。しかし満足はしませんでした。

梅吉は、アメリカに行つて勉強することを考えはじめました。そこで、苦学生の梅吉はしばらく学問をあきらめ、東京府の吏員

(公務員)試験を受け合格、働いてアメリカへ行くお金を貯めることにしました。アメリカへ行くため、福音英語学校の夜学や東京英和学校に通って英語を習いました。

明治20年10月梅吉は米山家の養子となり入籍しました。そして、翌年、親兄弟に見送られてアメリカへ出発しました。メソジスト派の福音派をたよってアメリカへ渡った梅吉は、サンフランシスコに滞在しました。

このころ東京英和学校(後の青山学院)でお世話になった本多庸一先生もアメリカへ来ていました。

ある晩、本多先生を訪ねた梅吉は、先生が火鉢の灰の上に「巧遅拙速(こうちせつそく)」となげなく書いたのに気づきました。鋭い梅吉青年は「まずく速いより、遅くても良い方が良い」といさめられたことを悟りました。

このころ、学費をもってアメリカへ行く青年はほとんどありませんでした。アメリカには貧しい青年のために学問の道が開かれていました。こうした学生はスクールボーイと呼ばれ、住む部屋を与えられ、仕事の合間に学校へ行くことが許されてい

ました。梅吉はこの仲間に入って働きながら勉強しました。梅吉は、福音会関係のハリス監督の推薦でオハイオ州ウェスレアン大学へ入学、さらにニューヨーク州シラキュース大学で法学を学びました。学費を稼ぎながらの苦しい8年間でしたが、この間、梅吉青年は世界のことにふれ、いろいろなことを学びました。

明治28年、梅吉はアメリカから帰国。翌29年10月、梅吉は米山はると結婚しました。

めざしていた新聞記者になることをあきらめた梅吉は、英語のできる人を求めている日本鉄道会社に入社しました。生活は楽ではありませんでした。梅吉は長女が生まれたのを機に、旧藤田四郎の義父・井上馨の推薦で三井銀行へ入行することになりました。明治31年31歳の時でした。

2年目には上司から認められ、優秀な3人に選ばれ、2年かけて欧米の銀行を見て学んでくる役を命じられました。同行した3人でまとめた報告書は、三井銀行ばかりでなく、日本の銀行を改めるものとなりました。いつしか梅吉は三井の米山ではなく、日本経済界の代表者の一人と見なされるようになっていました。

大正3年、47歳のとき「新隠居論」という考えを発表しました。これは、年寄りには後進に仕事を譲り、経験を生かし、社会に尽くす仕事をすすめるものでした。

大正9年、53歳のとき、梅吉はアメリカで創立された奉仕団体ロータリークラブを日本に設立し、会長になりました。そして、ロータリー会員としての奉仕の生活―新隠居論の実行に力をそそぎはじめました。

大正13年、日本で初めての信託会社、三井信託株式会社を創立しました。昭和9年三井家が協力して設立した「三井報恩会」の理事長を務めるようになりました。さらには昭和13年、貴族院議員に勅選されました。

昭和6年、梅吉は郷里の長泉小学校に図書館と本を寄付しました。これは「米山文庫」と呼ばれて人々に親しまれ、利用されるとともに、村人の自慢の一つとなりました。

昭和12年私財をなげうって緑岡小学校(青山学院初等科の前身)を創り、新しい教育を手がけました。ここでは、あたたかい雰囲気の中で、正しくのびやかに信頼できる人間教育をしたいと考えていました。毎週一回の梅吉校長先生のお話は、「人々にしてほしいとあなたがたの望むことを、人々にもその通りにせよ」という聖書の言葉を毎回読み、それについてのお話でした。

昭和15年、戦時下においてロータリー・クラブの方針の一つである国際性が軍部ににらまれるようになり、クラブを解散しなければならなくなりました。戦時中、「水曜クラブ」と名を変え、ロ

ーターリーの精神は受けつがれました。

晩年、病気がちだった梅吉翁は、無理がたたなり、昭和21年4月28日、長泉村下土狩の別荘で永遠の眠りにつきました。78歳でした。

戦後、昭和24年ロータリー・クラブは復興しました。

梅吉の残した仕事を記念して、米山記念奨学会がロータリークラブの仕事の一つとして生まれ、アジア各国から日本に留学している学生に、今も奨学金が贈られています。

現在ロータリークラブは、200以上の国または地域に広められ、日本においても全国各地に2千を超えるクラブが結成され、10万人に近い会員が活動しています。

「奨学金制度の特徴と現状について」



眞鍋 智紀 米山記念奨学委員

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会は、日本で学ぶ外国人留学生を支援する奨学財団であり、民間の国際奨学事業としては国内最大です。

ロータリー米山記念奨学会は、将来母国と日本との架け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することを目的としており、その最大の特徴は「世話クラブ・カウンセラー制度」により、「顔が見える奨学金」であることです。

奨学金として①学部課程・修士課程・博士課程奨学金②地区奨励奨学金③クラブ支援奨学金④海外応募対象奨学金⑤海外校友会推薦奨学金と5種類の制度が設けられています。

「寄付の種類、税制優遇、表彰制度について」



小田 剛 米山記念奨学副委員長

米山記念奨学会への寄付金には各クラブが決めた金額×会員数分を国内全クラブから納入いただいている「普通寄付金」と個人・法人・クラブからの任意の寄付金である「特別寄付金」の2種類がありますが、すべての寄付金に税制優遇が受けられます。

表彰制度としては個人の表彰として①個人の特別寄付金の累計額が3万円に達したときの「準米山功労者（登録）」、累計額が10万円に達したときには「第1回米山功労者」として表彰され、第2回から第9回（20～90万円）に達した方を「米山功労者（マルチブル）」第10回以上の方を「米山功労者（メジャー・ドナー）」と呼び、10万円ごとに感謝状、100万円ごとにピンバッジが贈られます。法人の表彰としては「準米山功労法人」「米山功労法人」「米山特別功労法人」が設けられており、また、クラブ表彰としても「米山功労クラブ」「1千万円達成クラブ」といった表彰制度が設けられています。

なお、本日ロータリー米山記念奨学事業の「豆辞典」が配られていますので、皆さんどうぞ一読ください。

「結び」

石神 美代 米山記念奨学委員長

米山梅吉翁の生い立ちから始まり、奨学金制度、寄付、その他につきまして、寺子屋のような気分で勉強してまいりました。ご理解いただけましたでしょうか。10月は米山月間でもありますので、これを契機に今後とも会員の皆様方のより一層のご理解、ご協力、ご支援の程宜しくお願い申し上げます。

■会務報告

後藤 健二 幹事

①帯広RC、移動例会開催のご案内（職場訪問例会）

日 時 10月17日（水）午後0時30分

場 所 ㈱ロゴスホーム（東3条南13丁目2 TEL22 - 4126）

②帯広RC、健康診断実施のご案内

日 時 10月24日（水）午前11時30分（例会前）

場 所 ホテル日航ノースランド帯広（2F）

③帯 広RC、10月31日（水）の例会は、休会と致します。

④帯広北RC、移動例会開催のご案内

日 時 10月12日（金）午後0時30分

場 所 北の杜

⑤帯広南RC、移動例会開催のご案内

日 時 10月15日（月）午後0時

場 所 かちまいホームセンター（清流の里）

⑥帯広東RC、夜間移動例会開催のご案内

日 時 10月16日（火）午後6時30分

場 所 幕別パークホテル悠湯館

⑦帯広北RC、夜間例会開催のご案内

日 時 10月19日（金）午後6時30分

場 所 ホテル日航ノースランド帯広 Jチャイナ

⑧帯広南RC、移動例会開催のご案内

日 時 10月21日（日）午前9時

場 所 スインピア

※尚、10月22日（月）の繰上げ例会と致します。

⑨帯広西RC、夜間例会開催のご案内

日 時 10月25日（木）午後6時30分

場 所 北海道ホテル

⑩帯広東RC、10月30日（火）の例会は、休会と致します。

■新会員紹介

会員増強委員会

いけだ けんた 君紹介

推薦者 倉野 賢 会員

飛岡 抗 会員



■RI2500地区出席表彰

SAA

優秀賞（10年） 中田 隆三 会員 後藤 健二 会員

■委員会報告

・出席報告

及川ゆかり 出席委員長

10/10例会の報告 会員総数86名 内免除会員6名 出席者数53名

9/26例会の報告 メークアップを含む出席者数65名 出席率79.30%

・ニコニコ献金

川上 義史 親睦活動委員

白石 俊之 会員

久しぶりにニコニコをします。9月30日77歳の喜寿のお祝いの同期会を61名集まり盛大におこないました。そのようすを十勝毎日紙にとりあげていただきました。感謝いたします。

佐藤 真康 会員

129日間に亘り開催された北海道ガーデンショーが成功裏に終了致しました。皆様のご協力を心よりお礼申し上げます。

奥原 宏 会員

地区大会に多くの皆様のご参加を頂きありがとうございます。

後藤 健二 会員

地区大会、多くの皆様のご参加ありがとうございます。クラブナイトでは勝手に進行を致し、歌えなかった皆様失礼致しました。心より感謝です。

後藤 健二 会員

地区大会 10年出席表彰ありがとうございます。

中田 隆三 会員

北見地区大会 10年出席表彰ありがとうございます。

中田 隆三 会員

北見にて愉快地にゴルフ研修会を行いました。

木村 裕氏 会員

北見でのゴルフ同好会例会にて2日間トータルでトップでした。これで念願の中田隆三さん寄贈のキャディーバックがもらえそうです。

倉野 賢 会員

新入会員の池田君を飛岡会員と一緒に連れて参りました。

飛岡 抗 会員

新入会員の池田健太さんを紹介します。よろしく願い致します。

池田 健太 会員

新入会員の池田健太と申します。末永くよろしくお願い致します。

■お誕生祝い

高橋 勝坦 会員

■ご結婚祝い

西田 康孝 会員 大和田三朗 会員 進藤 恒彦 会員

■次週プログラム予定

10月17日（水）「職場訪問」※移動例会（ロゴスホーム）

（職業奉仕委員会）

ロータリーだより

10月5日から7日まで北見市において20012-13国際ロータリー第2500地区大会が開催されました。

地区大会のRI特別表彰で帯広ロータリークラブが会員増強・拡大賞（勸誘11名）を受賞しました。当クラブを代表して和田前年度幹事がRI会長代理李 奎恒様から表彰を受けました。



↑携帯サイトができました。
バーコードリーダーで読み込む事ができます。

例会日/水曜日 12:30～13:30

例会会場/ホテル日航ノースランド帯広 TEL0155-24-1234

●創立/昭和10年3月15日 ●認証番号/3820

●戦後再開/昭和25年12月19日

●事務局/帯広市西3条南9丁目 経済センタービル4F
TEL0155-25-7347 FAX0155-28-6033

●発行/クラブ広報

●委員長/ 太田 隆博・副委員長/ 藤森 裕康

委員/ 中森 保・山本昭一郎・麻生 幸雄

阿部 幹男・加藤 恭一・三浦 啓徹

●ホームページアドレス/http://www.obihoro-rc.jp